

7 非正規雇用労働者の労働実態

(1) 非正規雇用労働者の雇用状況

非正規労働者とは、正規雇用（正社員）以外の雇用形態で働く労働者を指し、契約社員、派遣社員、パートタイマー、アルバイトなどが含まれる。非正規労働者の定義は、労働基準法上の「労働者」であることに変わりはないが、雇用契約の期間や労働条件、キャリア形成の機会などで正規雇用と異なる点が多いため、様々な問題も指摘されている。

①非正規雇用労働者を雇用している事業所数

非正規雇用労働者を雇用している事業所数をみると、全体では 73.0% となっている。産業別では、教育・学習支援業が 95.8% と高く、次いで医療・福祉サービス業が 84.3% となっている。逆に建設業は 30% と低い値になっている。

また、短時間正規雇用労働者を雇用している事業所は、全体では 19.6% で、金融業・保険業が 27.3% と最も高く、次いで製造業が 27.6% となっている。【表 18】

【表 18】就業形態別労働者を雇用している事業所の割合

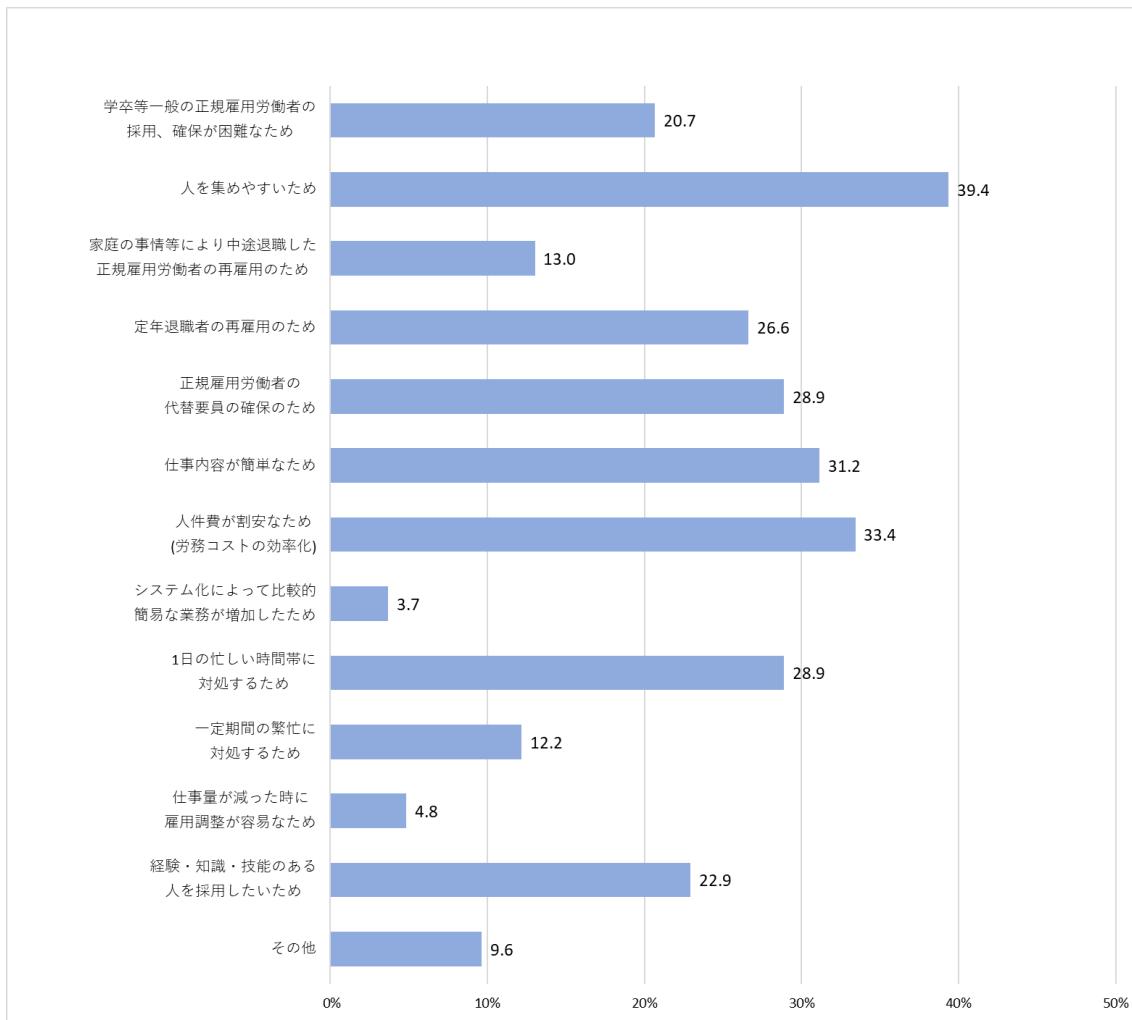
※数値は% () は実数

区分	正規雇用 労働者		うち短時間 正規雇用労働者	非正規雇用 労働者	無回答・不明	
調査産業計	92.1	(409)	19.6	(87)	73.0	(324)
5人～9人	83.3	(95)	15.8	(18)	57.9	(66)
10～29人	92.6	(87)	16.0	(15)	70.2	(66)
30～99人	96.1	(74)	31.2	(24)	75.3	(58)
100～299人	98.3	(58)	25.4	(15)	83.1	(49)
300～999人	95.6	(43)	8.9	(4)	84.4	(38)
1,000人以上	94.5	(52)	20.0	(11)	85.5	(47)
無回答・不明	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
建設業	100.0	(30)	10.0	(3)	30.0	(9)
製造業	93.1	(54)	27.6	(16)	72.4	(42)
運輸業、郵便業	92.3	(12)	23.1	(3)	61.5	(8)
卸売業、小売業	87.6	(85)	19.6	(19)	75.3	(73)
金融業、保険業	100.0	(11)	27.3	(3)	63.6	(7)
学術研究、専門・技術業	100.0	(11)	9.1	(1)	63.6	(7)
宿泊業、飲食業	82.1	(23)	10.7	(3)	82.1	(23)
生活関連業、娯楽業	88.9	(16)	22.2	(4)	83.3	(15)
教育、学習支援業	91.7	(22)	12.5	(3)	95.8	(23)
医療、福祉	92.5	(124)	23.1	(31)	84.3	(113)
他に分類されないもの	89.2	(33)	10.8	(4)	56.8	(21)
100万円未満	97.3	(36)	35.1	(13)	78.4	(29)
500万円未満	85.7	(48)	14.3	(8)	71.4	(40)
1,000万円未満	95.2	(20)	19.0	(4)	85.7	(18)
5,000万円未満	93.8	(135)	13.9	(20)	66.7	(96)
1億円未満	91.5	(43)	19.1	(9)	78.7	(37)
1億円以上	96.6	(56)	15.5	(9)	84.5	(49)
不明	85.0	(102)	25.8	(31)	70.0	(84)

②非正規雇用労働者を雇用する理由

非正規雇用労働者を雇用する理由は、「人を集めやすいため」が39.4%と最も高く、次いで「人件費が割安なため(労務コストの効率化)」が33.4%、「仕事内容が簡単なため」が31.2%となっている。【図38】

【図38】非正規雇用労働者を雇用する理由

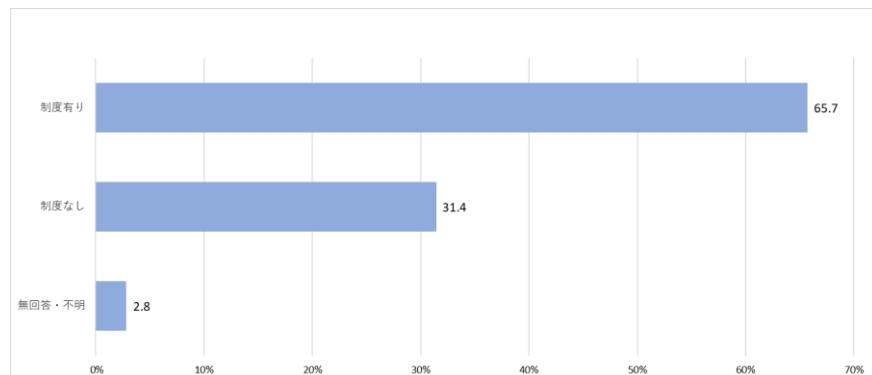


(2) 非正規雇用労働者から正規雇用労働者への転換

①非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する制度の有無

非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する制度の有無については、「制度有り」が65.7%、「制度なし」が31.4%となっている。

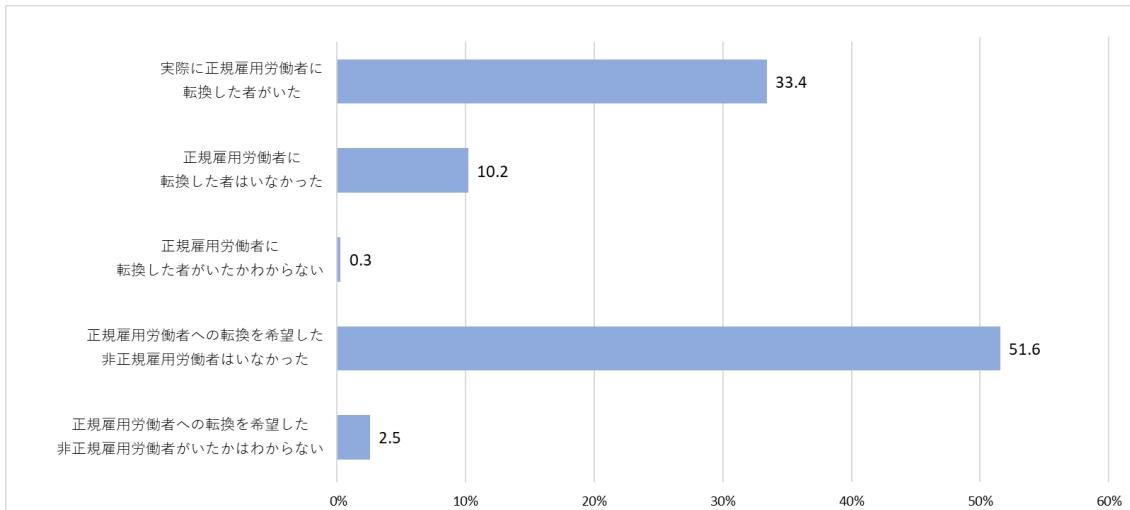
【図39】非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する制度の有無



②過去3年間に非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換した実績

過去3年間に非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換した実績の有無については、「実際に正規雇用労働者に転換した者がいた」と回答した事業所が33.4%、「正規雇用労働者に転換したものはいなかった」が10.2%となっている。また、「正規労働者への転換を希望した非正規雇用労働者はいなかった」が51.6%と高い値になっている。

【図40】過去3年間に非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換した実績



③非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていること

非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていることの問い合わせには、「支障となっていることはない」が37.7%、「正規雇用労働者への応募が少ない」が24.1%となっている。

具体的な支障については、「正規雇用労働者に転換するには能力が不足している」が15.3%、「正規雇用労働者としてのポストがない」が13.6%となっている。

【図41】非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていること

